

毎日のようにハンドボールの練習に打ち込む宙君と海さん



### ハンドボール

小田原 宙君(函館高専3年)

海さん(函館本通中3年)

宙君の今年の目標は、  
「ずばり『全国高専大会の  
連覇』。海さんは中学卒  
業後、大阪のハンドボ  
ールの強豪・宣真高校に進  
む。遠く離れることには  
なるが、ともに『ハンド  
ボール一色』の生活を送  
ることは変わらない。

試合を応援に行って  
も、互いのプレーに口は  
出さないのが二人の暗黙  
の了解ことになっている。  
宙君は「ポジション  
が違えば求められる動き  
も違う。何が良くて、何  
が悪かったかは自分が一  
番分かっているから」と  
話す。

シヨンの役割をきちんと  
果たしている」と評価す  
る。

# 互いのプレー認め合う

なによりハンドボール優先の生活を送る函館高専三年の小田原宙君(二つと)、函館・本通中三年の海(うみ)さんは、練習や試合を重ねることにチームプレーの大切さを実感する。

(高田未登里)

小学生のころに宙君は  
ヨットで全道大会出場、  
海さんは陸上のハードル

で全国大会に出場するほ  
どの選手だったが、宙君  
は中学の友人に誘われ、  
ハンドボールの世界へ。  
海さんもまた、兄の試合  
を見て「チームプレーを  
やりたい」と、中学入学  
後に陸上から転向した。

宙君は「力いっぱい、  
思い切ってボールを投げ  
る。この感じが好きだ」  
と話す。中学時代からポ  
ジションは、ボール運び  
を担い攻撃の起点となる  
「ポスト」。函高専が優  
勝を飾った昨年九月の全

国高専大会では、一八四  
センチの長身を生かしたプレ  
ーが光った。身長一六七  
センチの海さんは、豪快なシ  
ュートで相手ゴールを攻  
め、中体連全道大会で母  
校を優勝に導き、全国出  
場に貢献した。  
二人を指導した本通中  
の小林礼監督は「宙は視  
野が広く、チーム全体の  
動きを見渡せる。海はポ  
ールが持ったら周りも見  
えないほど鋭いシュート  
を打つ。それぞれのポジ

## ライバルは きょうだい

## 長身生かし役割きっちり